

# 伝統産業の産地構造改革と異分野共創による 新価値創造について

【担当省庁：内閣府、経済産業省、中小企業庁】

伝統産業における産地構造の抜本的な改革を進めるため「**伝統産業産地保全基金**」を創設し、以下の総合的な支援をしていただきたい。

- ① 分業体制で生産される西陣織や京友禅などの**後継者育成について、安定、継続した就業に繋がるよう、多能工職人の育成や技術継承等、基金を活用した制度を創設**していただきたい。
- ② 一貫工程化に伴う、**新たな設備導入や生産体制維持のための設備更新、原材料の生産等、基金を活用した制度を創設**していただきたい。
- ③ 世界に通用する独自の織物技術や加工技術を有する丹後の織物産地について、2020年に丹後ちりめん創業300年を迎えるにあたり、**日本の織物の生産拠点としての再整備（丹後織物工業組合の工場再整備）に際して、地方創生推進交付金を採択**していただきたい。

京都府  
の担当課

商工労働観光部 染織・工芸課 (075-414-4856)

## ■現状と課題

- ▶ 伝統産業は生産工程が分業化され、一工程の後継者不足による廃業等が工程全体に影響を及ぼすため、技術を伝承する職人の確保が伝統産業の存続に向けた大きな課題となっている。

## ■伝統工芸品の原材料及び国内産の割合

- ▶ 漆 国内生産量約1トン、輸入比率約98%（平成26年）
- ▶ 生糸 国内生産量約0.3千俵、輸入比率約95%（平成28年）

## ■京都府の取組

- ▶ 伝統産業の設備投資や後継者育成を支援するとともに、生産体制の再構築に向けた協議会を設置し、一貫工程化した共同工場の設置に向け産地組合と連携して推進

## ■伝統産業の設備投資の支援

	26年度	27年度	28年度	29年度	計
支援件数	131	205	245	265	846

## ■若手職人の確保に向けた取組

- ▶ 専門学校等による若手職人の育成
  - 京都府立陶工高等技術専門学校（陶芸）
  - 京都伝統工芸大学校
  - （陶芸、木彫刻、仏像彫刻、木工芸、漆工芸、蒔絵、金属工芸、竹工芸、石工芸、和紙工芸、京手描友禅）

## ■丹後織物産地の取組

- ▶ 和装用の白生地の生産量は全国の70%をシェア。
- ▶ 織物の総合産地化を目指し、白生地、帯地だけでなくネクタイ地、風呂敷地の製織や、原料も生糸、ポリエステル、レーヨンなど技術を活かした商品づくりを実施。
- ▶ また、広幅生地による洋装やインテリア用の生地にも挑戦し、欧州のメゾンやデザイナーからも注目

## ■丹後織物工業組合（概要）

- ▶ 大正10年 丹後縮緬同業組合として創立。昭和38年丹後織物工業組合に改組
- ▶ 組合員数 848軒（平成29年3月末現在）
- ▶ 主な業務
  - ・経営安定や後継者育成の相談対応、和装の白生地織物に加えて、洋装分野等への拡大に向けた新商品開発や販路開拓への取り組みにより、産地の活性化を推進
  - ・産地で生産された絹・化合織の織物への精練、染色、仕上加工及び耐久加工を施し、丹後織物の品質保証と高付加価値の産地ブランドの信頼を支える。